

平成 2 3 年度 事業 報告 書

I 業 務

平成 2 3 年度においては、引き続き畜産の振興、乗馬の普及及び地方競馬の実施に必要な機械施設等の導入への支援等により、畜産経営の近代化及び畜産物の生産流通の改善合理化等を図り、その安定的な供給に資するとともに、乗馬の普及及び地方競馬の振興に資するため、貸付需要の動向等に対応しつつ、次の事業を実施した。

1. 畜産関係施設貸付事業 2,308,506 千円

(1) 飼料生産利用施設の貸付事業 1,562,198 千円

1) 草地造成用機械施設

草地造成等のため、畜産関係法人 2 団体に対し、ブルドーザー、ブロードキャスター等 8 基、29,920 千円の貸付けを行った。

2) 自給飼料生産利用機械施設

牧草等飼料作物生産利用のため、農協等 48 団体を通じ畜産農家等に対し、トラクター、ショベルローダー、ロールベアラー等 527 基、1,532,278 千円の貸付けを行った。

(2) 家畜家きん飼養管理施設の貸付事業 742,408 千円

1) 生乳生産合理化施設

ア) 搾乳施設

酪農経営の合理化を図るため、農協等 17 団体を通じ畜産農家等に対し、パイプラインミルクカー等 37 基、107,430 千円の貸付けを行った。

イ) 生乳冷却貯蔵施設

生乳流通の合理化と品質の改善向上を図るため、農協等 24 団体を通じ畜産農家等に対し、バルククーラー等 66 基、217,893 千円の貸付けを行った。

ウ) 生乳検査機械

乳質の管理と品質向上を図るため、農協 2 団体に対し、生乳成分分析装置 16 基、49,250 千円の貸付けを行った。

2) 精液保管等施設

家畜の改良増殖を促進するため、畜産関係法人1団体に対し、ジェットプリンター1基、4,600千円の貸付けを行った。

3) 畜舎環境改善機械施設

畜舎の環境改善を図るため、農協等26団体を通じ畜産農家等に対し、通風装置、発電機、発情検知システム等212基、348,179千円の貸付けを行った。

4) 中小家畜管理機械施設

中小家畜の飼養管理の合理化を図るため、農協2団体に対し、給水施設等7基、15,056千円の貸付けを行った。

(3) 家畜畜産物流通施設の貸付事業 3,900千円

1) 食肉食鶏処理流通施設

食肉食鶏の流通合理化を図るため、農協等2団体に対し、真空包装機等2基、3,900千円の貸付けを行った。

なお、畜産関係施設については、平成22年度から貸付期間の延長（短縮）を可能とするとともに、中古の自給飼料生産利用機械等の貸付けを開始したが、平成23年度の実績は次のとおりであった。

① 貸付期間の延長等	15 県	85 基（うち延長 64 基）	301,032 千円
② 中古機械	3 県	4 基	12,248 千円

また、借受団体からの要望を受け平成23年度から信用保険を導入したが、平成23年度の加入状況は、畜産関係施設貸付額 2,308,506千円に対し信用保険加入に係る貸付額は 1,035,745千円であった。

2. 乗馬施設貸付事業 42,730千円

乗馬の普及を促進するため、乗馬の健全な普及を目的とする全国団体を通じ、乗馬クラブで使用するワゴン車、ウォーキングマシン等9基、42,730千円の貸付けを行った。

3. 調査研究業務 155 千円
- 畜産及び馬事の振興に資するため、平成24年度から実施する調査研究の課題（酪農経営における飼料給与管理省力化技術開発及び馬の調教におけるテントドーム型覆馬場の活用）について、検討を行った。
4. 地方競馬用施設貸付事業 262,352 千円
- 地方競馬の振興を図るため、地方競馬主催者5団体に対し、投票券自動発売機、トラクター等8基、262,352千円の貸付けを行った。
5. 飼料化機械改良実証事業（平成21～23年度 3ヵ年事業） 22,735 千円
- 前年度に引き続き、食品残さを活用したエコフィードの生産の省力化に資することを目的に、食品残さりキッド飼料製造装置の開発及び国産リキッドフィーディングシステムの開発の2課題について、2民間法人に対し調査研究（機器開発）を委託して実施した。
- また、調査研究委員会において平成21年度から23年度までの委託事業の成果について最終評価を行うとともに、3年間の事業成果をDVD媒体等に整理し技術の普及を図った。
6. 馬事・畜産活性化推進事業 13,001 千円
- 地方競馬の振興等に資するため、認定競馬活性化計画の補完、馬事・畜産の普及啓蒙、馬の防疫の体制強化等を実施する事業を対象とし、地方競馬主催者等6団体に対し助成を行った。
7. 貸付事業指導等委託事業 24,041 千円
- 最終借受者に対し貸付機械施設の適正な導入と効率的な活用を指導し、また、新規貸付開拓を図るための指導等事業を、44道府県畜産協会に委託して実施した。

8. 貸付資産の譲渡・除却

1,005,075 千円

(1) 貸付期間終了譲渡

平成2年度、17年度及び18年度に貸し付けた施設のうち、貸付期間の終了した貸付施設を借受者へ譲渡した。

1,253 基、取得に要した価額 3,649,507 千円、譲渡額 621,156 千円

(2) 除 却

離農等の理由により、貸付契約の途中解約を行った。

70 基(うち、畜産関係施設貸付分は、62 基)、取得に要した価額 1,145,971 千円(同 165,318 千円)、繰上精算額 383,919 千円(同 63,488 千円)

II 理事会等

1. 理事会、評議員会

平成23年 6月 2日

第1回・2回 理事会

評議員(後任)の選任について

平成22年度事業報告・財務諸表等について
理事長及び常務理事の互選について

第1回 評議員会

平成22年度事業報告・財務諸表等について
理事(任期満了、後任)及び監事(任期満了)
の選任について

平成23年11月 1日

第2回 評議員会

理事(後任)の選任について

平成24年 3月28日

第3回・4回 理事会

評議員(後任)の選任について

平成24年度事業計画・収支予算について

第3回・4回 評議員会

理事(後任)の選任について

平成24年度事業計画・収支予算について

2. 監 査 等

- 平成23年5月10日・11日 平成22年度の業務及び決算状況について、袖山公認会計士事務所の監査を受けた。
- 平成23年5月19日 平成22年度事業の運営及び会計経理全般にわたって、飯田監事の監査を受けた。
- 平成23年8月3日・24日 平成22年度の業務及び財産状況について、農林水産省の検査を受けた。
- 平成23年10月13日・14日 平成22年度の業務及び経理状況について、地方競馬全国協会の監査を受けた。
- 平成23年12月12日・13日 平成23年度の業務及び経理状況について、袖山公認会計士事務所の期中監査を受けた。

3. 承 認 等

- 平成23年 5月16日 農林水産大臣 業務方法書の一部改正について、申請のとおり承認された。
- 平成23年 6月 2日 農林水産大臣 平成22年度事業報告書及び財務諸表等を農林水産大臣あて提出した。
- 平成24年 3月28日 農林水産大臣 平成24年度事業計画書及び収支予算書を農林水産大臣あて提出した。

4. 会 議

(1) 業務推進事務打合せ会議

平成23年11月30日東京都内において、各都道府県及び畜産協会、主要借受者団体等に対して、貸付事業の現況と実施上の留意事項等について説明会を開催した。

(2) 貸付機械施設販売業者情報交換会

平成23年12月7日東京都内において、全国の販売業者に対して、貸付事業の現況と貸付機械施設の売買上の留意事項等について説明会を開催した。

Ⅲ 役員及び評議員の異動

下記のとおり異動があった。

	辞 任		就 任	
	辞 任 者	辞 任 年 月 日	就 任 者	就 任 年 月 日
理	小 林 一 義	2 3 . 6 . 1 8	六 車 守	2 3 . 6 . 1 9
			大 森 伸 男	2 3 . 6 . 1 9
事	田 辺 博 章	2 3 . 1 0 . 3 1	朝 井 洋	2 3 . 1 1 . 1
	水 野 豊 香	2 4 . 3 . 2 7	益 満 宏 行	2 4 . 3 . 2 8
評 議 員			森 彪	2 3 . 6 . 2
	中 山 誠	2 3 . 1 0 . 3 1	矢 嶋 仁	2 4 . 3 . 2 8